

2020年度 JHA 指導委員会全国研修会 on ZOOM

2021 2. 27

【プログラム】

- 1、2021 指導者資格義務化について
- 2、J 級 → スタートコーチ移行措置について
- 3、コーチ3 養成講習会について
- 4、コーチ1 養成講習会について
- 5、スタートコーチ養成講習会について
- 6、ボールサイズ変更について

【講義内容】

「2021 指導者資格義務化」

○2021年4月～2024年3月 資格保有義務化開始（移行期間）

- ・チーム登録時に JSPO 公認スポーツ指導者（ハンドボール）資格保有者の1名以上の登録を義務づける。

※チームに資格保有者がいない場合は、教員免許を保有し学校教育機関で働いている現

教 職員を1名以上登録することでチーム登録を認める。

○2024年4月～ スタートコーチ以上の資格保有義務化

○2025年4月～ 国体、JOC に出場するチームのスタッフに1名以上コーチ3

資格保有の義務化

○2027年4月～ 日本リーグ、日本代表（アンダーカテゴリーを含む）コーチ4

資格保有の義務化

「J級 → スタートコーチ移行措置」

○J級資格のスタートコーチ移行措置は終了しました。 📌 大分県は該当者なし

「コーチ3養成講習会」

○受講希望者推薦

- ・各県における推薦上限人数：5名
- ・受講希望者推薦〆切：3月17日
- ・受講料（25,300円） 専門（16,500円） 登録料（13,000円） 資料代（5,500円）

○専門科目講習会の実施時期・場所

- ・2021年度の講習会「6月愛知県」25日～28日（予定）
「2月東京都」18日～21日（予定）

★各受講者が講習会に参加するのは2日間のみ（例：6月25日と26日）

★例年は、4日間集合講習会を受講するが来年度は、集合講習は2日間のみ。ただし、

残りは課題・オンデマンド形式・ZOOMによるディスカッションをおこなう。

「コーチ1養成講習会」

○コーチ1資格とは、旧資格「指導員（C級指導員）」の新名称であり、都道府県の体育・スポーツ協会が主催・募集し、都道府県ハンドボール協会主管する講習会である。

○共通科目は通信講座で実施され、専門科目は20時間の集合講習会をおこなう。

○必要経費：共通（19,800円） 専門（18,900円） 登録料（10,000円）

「スタートコーチ移行措置」

○スタートコーチの役割とは、地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等において、上位資格者と協力して安全で効果的な活動を提供することである。

○受験科目とその時間数

(1) 共通

- ① 指導者の役割と責任（スポーツインテグリティを含む）
- ② 指導者のあり方と指導のプロセス
- ③ コーチ自身の成長計画をたてる

(2) 専門

- ① 発育・発達から見る一貫指導
- ② ハンドボールの競技特性
- ③ 現場における危機管理

共通 → 3.5時間 専門 → 4時間 +リファレンスブックでの事前学習 11.5時間

★共通科目については、ビデオ教材（グループディスカッションを含む）

★専門科目については、スライド資料を用いて指導者資格を持つ方より講義
確認テスト（WEB上でのオンラインテスト）

○受講料：教材（6,000円）登録料（13,000円）

「ボールサイズ変更」

○小・中学生女子におけるボールサイズ変更に関して

① 2022年4月より開始

② 2022年3月春の全国中学校ハンドボール大会で適用予定

③ 2021年8月の全国大会にてボールお披露目

「まとめ」

・2021年度～2023年度までは教員免許を保有していれば登録は可能であるが、2024年度からは、指導者資格を保有する役員を最低1名以上登録しなければチーム登録が認められない。大分県では、小中学校でこの問題が生じてくる可能性が十分考えられる。万が一2024年度4月の段階で、チーム役員に資格を保有するものがない場合は、大分県ハンドボール協会内で指導者資格を、保有する者を該当チームの役員に暫定的に登録する。

指導者資格義務化のベースの考え方は、資格をもっているものが指導にあたるというのが本質であり、役員登録する者すべてが、保有しているのがベストである。